

ビタミンC製剤

処方せん医薬品^{※1)}

日本薬局方

アスコルビン酸注射液

ビタミン注5%

ビタミン注10%

VITACIN INJECTION 5%/INJECTION 10%

貯法：室温保存
使用期限：外箱、アンプルに記載

日本標準商品分類番号 87314				
	承認番号	薬価収載	販売開始	再評価結果
注5%	(61AM)3055	1965年12月	1966年2月	1977年5月
注10%	(61AM)3056	1965年12月	1966年2月	1977年5月

【組成・性状】

	ビタミン注5%	ビタミン注10%
1管容量	20mL	20mL
有効成分	アスコルビン酸 …1000mg	アスコルビン酸 …2000mg
添加物	ピロ亜硫酸Na ……8.4mg L-塩酸システイン ……8.4mg pH調整剤（炭酸水素Na）	ピロ亜硫酸Na ……16.8mg L-塩酸システイン ……16.8mg pH調整剤（炭酸水素Na）
性状	無色澄明の液	無色澄明の液
pH	5.6～7.4	5.6～7.4
浸透圧比 ^{注2)}	約2	約4

注2) 生理食塩液に対する比

【効能・効果】

1. ビタミンC欠乏症の予防及び治療（壊血病、メルレル・バロー病）
2. ビタミンCの需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時など）
3. 下記疾患のうち、ビタミンCの欠乏又は代謝障害が関与すると推定される場合
 - 1) 毛細管出血（鼻出血、歯肉出血、血尿など）
 - 2) 薬物中毒
 - 3) 副腎皮質機能障害
 - 4) 骨折時の骨基質形成・骨癒合促進
 - 5) 肝斑・雀卵斑・炎症後の色素沈着
 - 6) 光線過敏性皮膚炎
3. の効能・効果に対して、効果が無いのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

【用法・用量】

アスコルビン酸として、通常成人1日50～2000mgを1～数回に分けて皮下、筋肉内又は静脈内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 臨床検査結果に及ぼす影響
 - 1) 各種の尿糖検査で、尿糖の検出を妨害することがある。
 - 2) 各種の尿検査（潜血、ビリルビン、亜硝酸塩）・便潜血反応検査で、偽陰性を呈することがある。
2. 適用上の注意
 - 1) 静脈内注射時：静脈内注射により血管痛があらわれることがあるので、注射の速度はできるだけ遅くすること。
 - 2) 皮下・筋肉内注射時：
 - 1) 皮下・筋肉内注射により注射部位に疼痛があらわれること

がある。

(2) 筋肉内に投与する場合は、組織・神経等への影響を避けるため、下記の点に注意すること。

① 筋肉内投与はやむを得ない場合にのみ必要最小限に行うこと。

なお、特に同一部位への反復注射は行わないこと。

また、低出生体重児、新生児、乳児、小児には特に注意すること。

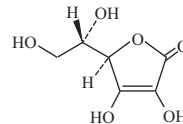
② 神経走行部位を避けるよう注意すること。

③ 注射針を刺入した時、激痛を訴えたり、血液の逆流をみた場合は直ちに針を抜き、部位を変えて注射すること。

3) アンプルカット時：本剤はワンポイントカットアンプルであるが、異物の混入を避けるため、アンプルカット部分をエタノール綿等で清拭してからカットすることが望ましい。

【有効成分に関する理化学的知見】

構造式：



一般名：アスコルビン酸（Ascorbic Acid）

化学名：*L*-threo-Hex-2-enono-1,4-lactone

分子式：C₆H₈O₆

分子量：176.12

性状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、酸味がある。水に溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

融点：約190℃(分解)

【取扱い上の注意】

注意

本剤はワンポイントカットアンプルを使用しているため、アンプル頭部の●マークを上にして反対方向に折り取る。

【包装】

ビタミン注5%：20mL×50管

ビタミン注10%：20mL×50管

注1) 注意－医師等の処方せんにより使用すること

※※【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

主要文献（社内資料を含む）は下記にご請求下さい。

東和薬品株式会社 学術部DIセンター（24時間受付対応）

〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号

☎0120-108-932 TEL 06-6900-9108 FAX 06-6908-5797

<http://www.towayakuhin.co.jp/forstaff>



製造販売元

東和薬品株式会社

大阪府門真市新橋町2番11号